

# 在宅医療・介護連携の推進 「医療介護連携ITシステム構築支援事業(まめネット)【島根県】」

## 取組の背景

- ・中山間地域、離島を有する地理的条件、交通網整備の遅れ
- ・医師・不足偏在が深刻化
- ・全国3位の高齢化率(34.0%)  
→医療・介護サービスの提供体制を維持することが困難



## 事業概要(取組の特長)

### 1 事業目的

医療・介護サービス資源を最大限活用するため、県全域に構築したネットワーク「まめネット」を活用した医療・介護情報連携を推進

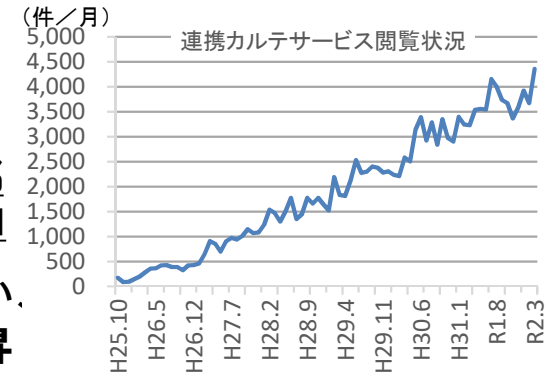
### 2 取組の特長

- (1) 行政の積極的関与によるネットワーク構築
    - ・病院、大学、医師会、行政等の代表者による方針決定
    - ネットワーク構築の本質は「**決まり事を作る**こと」
    - ・県広報媒体を活用した普及、運営団体の定例会議に参画
    - ・連携インタフェースを公表し、ベンダーフリーのプラットフォームを構築
  - (2) 多彩なサービスの運用
    - ア 診療情報共有
      - ・電子カルテ情報の病院、診療所の**双方向共有**
    - イ 介護情報共有、多職種連携
      - ・**介護認定情報**(介護保険者→ケアマネ)、**ケアプラン情報**(ケアマネ↔介護サービス事業所)の情報共有
      - ・SNS形式での多職種での情報共有・コミュニケーション
    - ウ その他の情報連携
      - ・HPKI電子署名を活用した紹介状、主治医意見書等の伝送
      - ・**WEB会議サービス**を活用したカンファレンス 等
- ※各アプリケーションの保守は、利用料収入で運営



## 事業の成果等

- (1) 普及率(R2.3月末)
  - ・県民の**8.4%**
  - ・県内病院の**83.7%**
  - ・**医科診療所の49.5%**  
がまめネットに参加
- (2) 普及率の上昇に伴い、**情報連携の頻度も上昇**



## 予算推移

- ・平成30年:235,477千円
- ・令和元年:563,381千円
- ・令和2年:225,502千円

## 事業推進上の課題等

### 1 事業推進上の課題

- (1) 各地域ネットワークの運営基盤の継続性、安定性
  - ・更新時期を迎え、運営が立ちゆかなくなる団体も。
  - ・ネットワーク化の受益者は誰か？
- (2) 「全国保健医療情報ネットワーク」の仕様が不明
  - ・地域ネットワークとの連携について示されておらず、将来の運営見通しが立たない。

### 2 横展開に向けての提言

- (1) ICTの活用・連携推進についての診療報酬、介護報酬を充実することが必要
- (2) 早期に全国NWの仕様を公表すること、方針決定に当たっては地域の意見を反映することが必要